

双葉西小だより

令和2年5月12日 文責 学校長 平塚 克人



新年度スタート 3回目の仕切り直し

5月4日(月)に、全都道府県対象に5月31日(日)までとする緊急事態宣言の延長が国から発表されました。緊急事態宣言の延長に伴い、甲斐市内の小中学校でも新年度のスタートが再々延長になりました。新学年でのスタートを楽しみにしている子どもたちにとっては、4月6日(月)⇒4月19日(日)⇒5月10日(日)⇒5月24日(日)と度重なる休校延長で、新年度に向けての気持ちの立て直しの難しさやステイホームが続くことでの学習へのモチベーション低下が懸念されます。しかし、今はコロナウイルスに感染しないことが最優先です。報道による大型連休中の全国の様子を見ましても、「日本中の人々が外出を自粛して感染症拡大防止のために頑張っているのだな。」ということがうかがえます。大型連休が明けて5月8日(金)時点では、幸いにも収束の方向に向かい始めているように感じられるのは私だけではないと思います。

毎日、寂しい思いをしながらも子どもたちだけで留守番をしているご家庭もあるでしょう。また、お子さんだけの留守番が心配で、無理をして仕事を休んでいるご家庭もきっとあることでしょう。本校教職員も、仕切り直しのたびに計画・準備の立て直しに追われています。しかし、今週・来週と分散登校日を予定していますので、子どもたちに会える喜びで、職員室にもわかに活気づいているように感じられます。

甲斐っ子安心メール及び本校HPから5月1日付け発信による「地区ごとの分散登校日について」にありますように、12日(火)～14日(木)と18日(月)～20日(水)に1日ずつ計2回の地区ごとの分散登校になります。該当地区をご確認の上、お子さんの登校をよろしく願いいたします。尚、持ち物の1つに「健康チェックカード」があります。朝、お忙しいとは思いますが検温及び必要事項の記入をして持たせてください。

5月11日 学校創立147周年



今年度は臨時休業中になってしまいましたが、双葉西小学校が今年で147周年を迎えました。他の市町村では、昨今の少子化の影響から統廃合の小学校もある中で、志田学校の誕生から塩崎小学校(途中に塩崎国民学校)、そして昭和30年に双葉西小学校と改称して今日に至っていますことは、地域の大きな誇りではないでしょうか。

現在、世界中で新型コロナウイルスへの感染を防ぐために苦慮していますが、人類の歴史を振り返りますと古くはペストや天然痘、そして結核、コレラにチフス、最近では新型インフルエンザと、人類は感染症との闘いの中で生き続けていると言っても過言ではありません。おそらく、本校147年間の長い歴史の中にも、感染症による苦しい時期があったことと思います。そのような厳しい状況を乗り越えて、現在の双葉西小が歴史を積み重ねていると考えますと、「何とかコロナを終息させて、次の時代につなげていきたい。」と思えてきます。

本校が更なる発展を遂げられますように、今後とも学校教育へのご理解とご協力をお願いいたします。

本校ホームページの活用を

今年度は感染症対応もあり、短い期間での予定変更を余儀なくされています。そのため、事あるごとに安心メールと学校HPにて発信しています。しかし、地域の皆様には最新の情報が届きにくく、ご迷惑をおかけしております。学校便り右上にQRコードを掲載しました。ぜひ、積極的に本校HPで最新情報をご覧ください。



ご来校ありがとうございました。

4月23日（木）、24日（金）には、書類等の提出及び学校からの配布物受け取りのために、保護者の皆様にご来校いただきましてありがとうございました。



教科書等の配付の時よりも尚一層の感染症拡大防止強化のために、今回はドライブスルー方式で校庭での受け渡しを行いました。保護者の皆様にとりましては、車から降りて学級担任ともう少し言葉を交わしたかったことと思います。また、担任の方も子どもたちの家での様子を詳しく聞きたかったことでしょう。家庭訪問も中止になり、なかなか学校とご家庭とのコミュニケーションがとりづらい状況ではありますが、貴重な時間になりました。日時の指定があったため、仕事等のやりくりが大変だったと思います。ご協力ありがとうございました。

応援メッセージ

ファイトっ (*>u<*)



校舎3階の大時計付近に1年生から卒業生までへの応援メッセージを本校職員が掲示してくれています。近くをお通りの際には、ぜひご覧ください。



環境整備&植え付け&種まき

例年ですと学校応援団の皆様は職員室南側に“緑のカーテン”の準備をしていただく時期ですが、感染症拡大防止のために、ご来校を控えていただいています。そのため、今年度は残念ながら双葉西小名物“緑のカーテン”の設置は見送ることになりました。

しかし、時期が過ぎてしまうと発育に支障を来してしまう、ジャガイモの植え付けや枝豆の種まきは例年通りに、学校応援団の功刀さんが行っていただきました。残念ながら子どもたちが登校していませんので、功刀さんにお任せになってしまいました。5月の暖かな日差しを浴び、どちらもすくすくと育っています。

また、庁務員さんによる校庭や花壇の除草、職員でのトラックロープ張りなど、学校再開に向けての準備が進んでいます。



感染症の怖さ

感染症の怖さは、病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別が異なる病気の拡散につながることで、特に感染者、濃厚接触者に対する偏見から差別がうまれることはあってはなりません。ただでさえ大きな迷惑を被っている『コロナ』によって、さらに『コロナいじめ』のようなことは人として許されないことです。

新型コロナウイルス感染症は、感染経路が不明であるケースも多数見受けられていることから誰しにも感染の可能性があります。本校の保護者の方や子どもが罹患した場合であっても、偏見や差別につながるような行動があってはなりません。学校再開にあたって肝に銘じておきたいことです。